

平成 27 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

における〇〇小学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 27 年 4 月から 7 月末までの期間に、5 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にさせていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第 5 学年、特別支援学校小学部第 5 学年の原則として全児童
- ・喜連北小学校では、5 年生 76 名

3 調査内容

- (1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
小学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8 種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童・生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

喜連北小 学 校

児童数

76

平均値

| | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール 投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|--------------|-------|
| 男子 | 17.96 | 21.02 | 30.85 | 35.00 | 50.56 | 9.00 | 135.22 | 23.11 | 51.47 |
| 大阪市 | 16.48 | 19.16 | 32.16 | 38.84 | 48.29 | 9.39 | 147.79 | 22.76 | 52.23 |
| 全国 | 16.45 | 19.58 | 33.05 | 41.60 | 51.64 | 9.38 | 151.24 | 22.52 | 53.80 |
| 女子 | 17.17 | 16.22 | 40.93 | 30.93 | 35.63 | 9.74 | 125.07 | 12.63 | 49.96 |
| 大阪市 | 16.06 | 17.79 | 36.86 | 36.98 | 37.66 | 9.66 | 140.64 | 13.79 | 53.50 |
| 全国 | 16.05 | 18.42 | 37.44 | 39.55 | 40.69 | 9.62 | 144.77 | 13.77 | 55.18 |

結果の概要

男子は握力、上体起こし、50m走、ソフトボール投げで全国の平均を上回っている。女子は握力、長座体前屈で全国平均を上回っている。男子・女子ともに体力点合計では、全国平均に及んでいない。男子の総合評価点は、全国平均の－2.3pであるが、女子の総合評価点は－5.2pの開きがある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

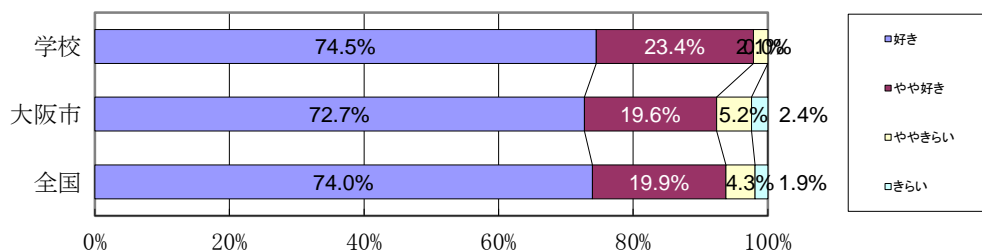
男子・女子とも概して、前年度より体力の向上が見られる。今後、指導方を研究し、子どもが主体的に体力づくりに取り組む授業・取組みを工夫する。また、地域の教育力による、運動・スポーツへの興味や関心、態度の育成や体力の向上が現れているので、学校が体育授業や体力づくりの取組みを積極的に進める中で、地域・保護者との連携深めるようにしていくことが課題である。

運動やスポーツについて（男子）

| 質問 番号 | 質問事項 |
|----------|------|
|----------|------|

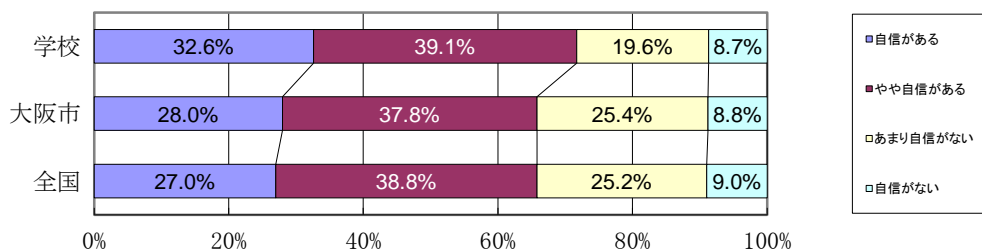
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



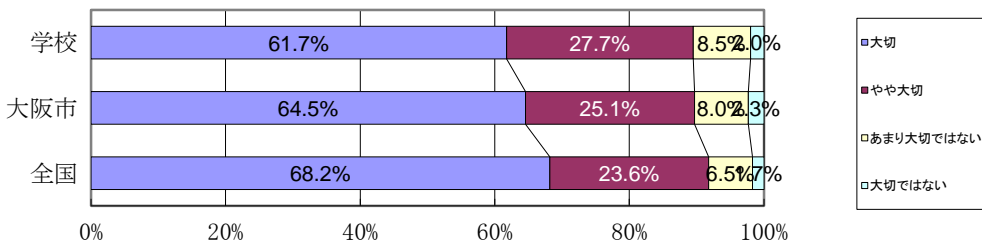
2

自分の体力に自信がありますか



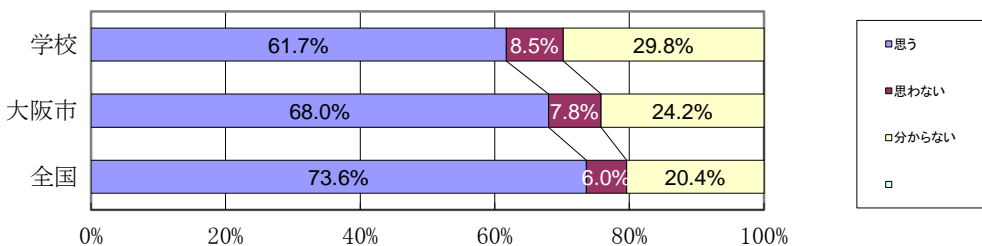
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



4

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。



成果と課題

運動への関心や得手不得手意識、自信については肯定的な回答が多く、全国平均を上回っているが、運動の大切さや活動所属に対する意識は低く、今後の課題とする。

今後の取組

授業の中で、体力づくりやその意義をしっかりと理解させる取組を行う。そのために、自己の体力を可視化したり、他と協力し楽しく行うことができる活動を工夫して行う。

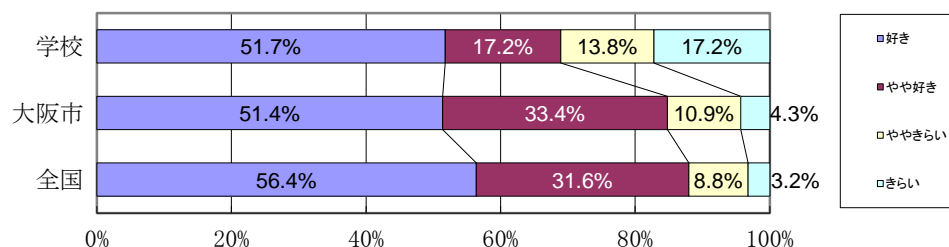
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

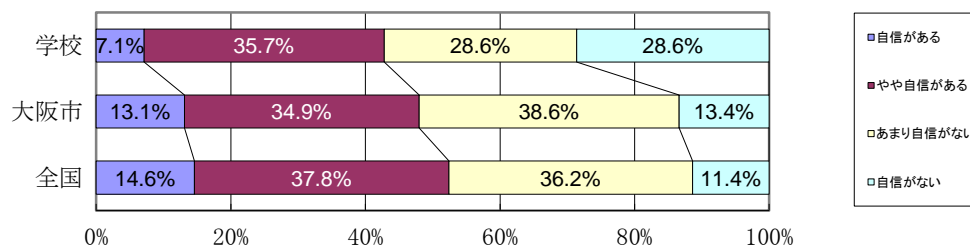
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



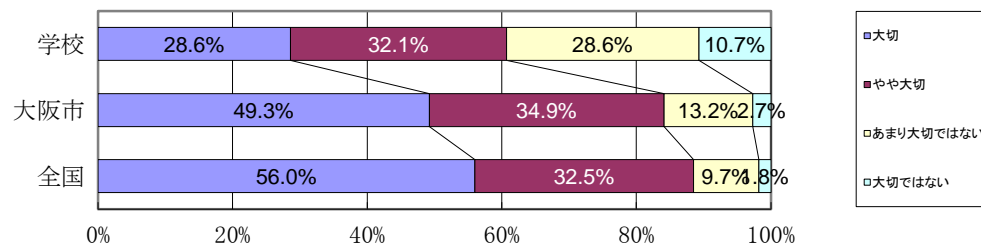
2

自分の体力に自信がありますか



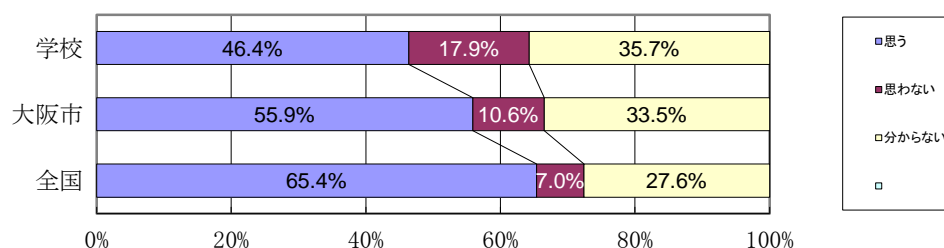
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



4

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



成果と課題

運動について苦手意識が強く、体力にも自身がなく活動への所属意識や運動についての価値を見いだせていない層が多い。児童が身近に楽しくで接することができる運動を工夫して実施していく必要がある。

今後の取組

全員で楽しく行うことができる、縄跳び運動や駆け足運動などの取組みを実施してきた。今後さらに、運動の指導方を工夫し、ゲーム性や達成感のある活動として授業で取り組む。

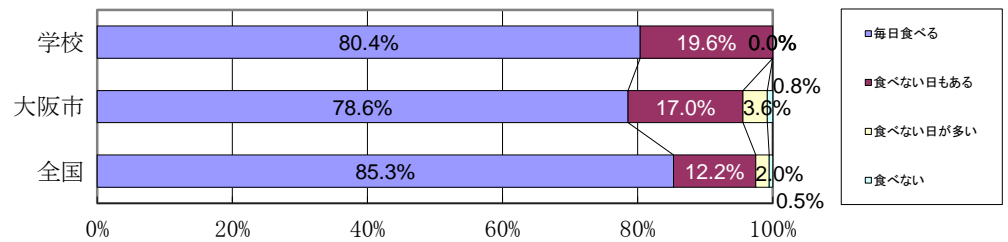
ふだんの生活について（男子）

質問
番号

質問事項

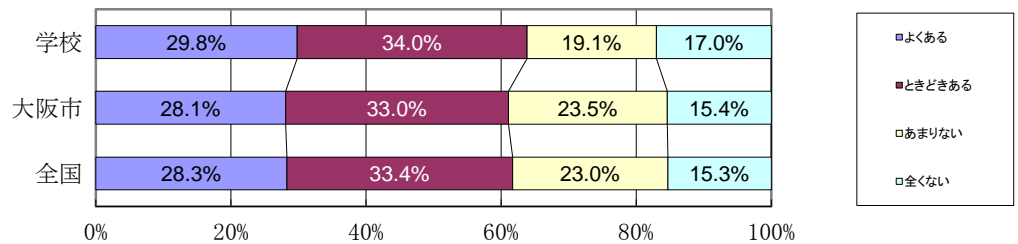
8

朝食は毎日食べますか(学校
が休みの日もふくめます)



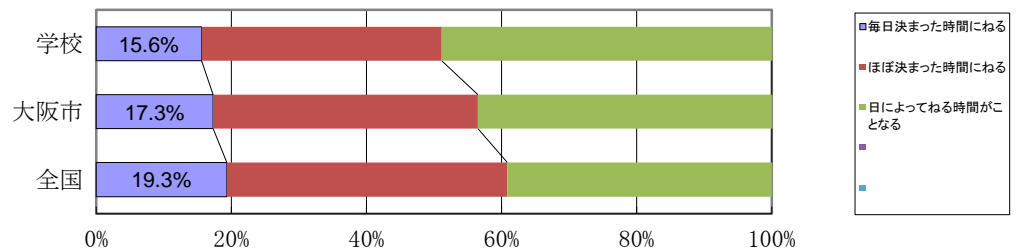
15

家の人から運動やスポーツを
積極的に行うことをすすめられ
ますか



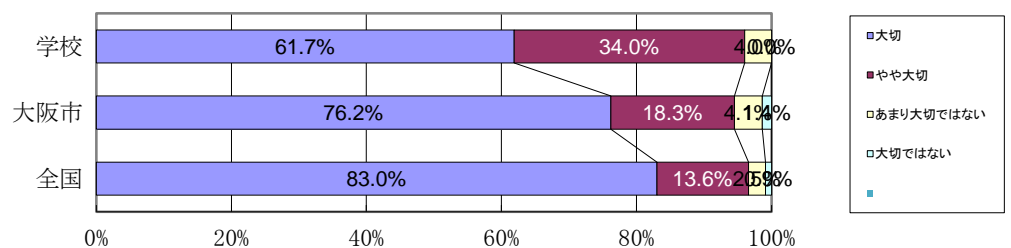
11

ねる時間は決まっています
か。



19-1

あなたが健康であるためによく
寝ることはどれぐらい大切だと
考えていますか。



成果と課題

朝食については全国比でも平均的であるが、睡眠時間の不安定さがある。基本的な生活習慣は運動・体力と密接にかかわっており、意識や行動がより高まるようにすることが課題である。

今後の取組

健康・保健教育の充実を図り、睡眠など基本的な生活習慣が、体力に密接につながっていることを理解させる。さらに、健康・運動・スポーツについての興味・関心・態度について、家庭へ啓発し、共通理解をすすめる。

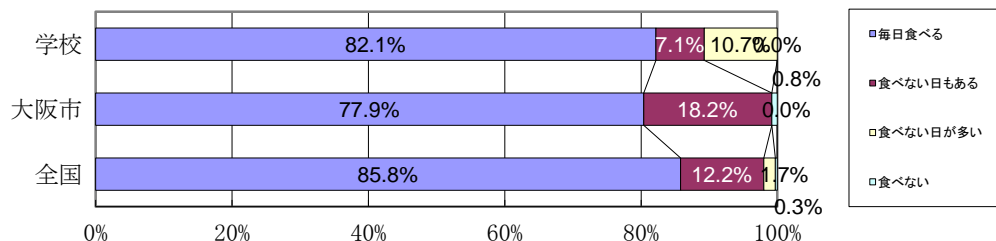
ふだんの生活について（女子）

質問
番号

質問事項

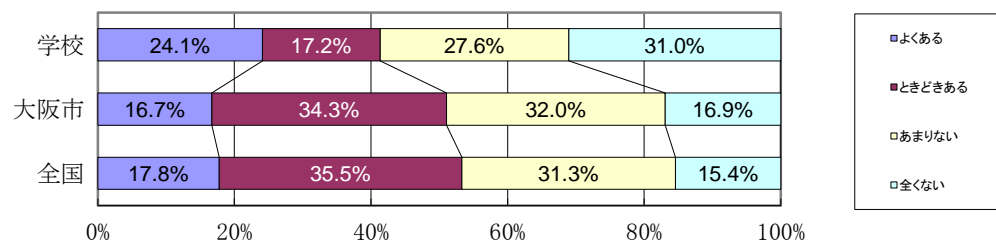
8

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



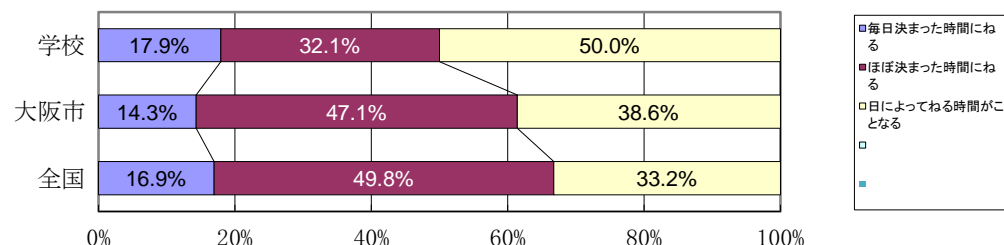
15

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



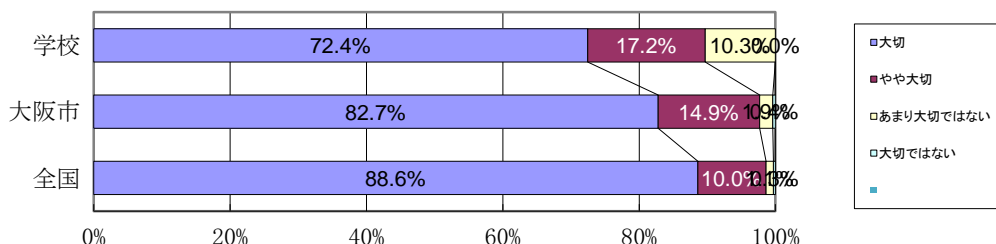
11

ねる時間は決まっていますか。



19-3

あなたが健康でいるためによく寝ることはどれぐらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食や睡眠、家庭の運動への積極性、就寝時間のどれについても全国平均に及ばず、不安定性がある。

今後の取組

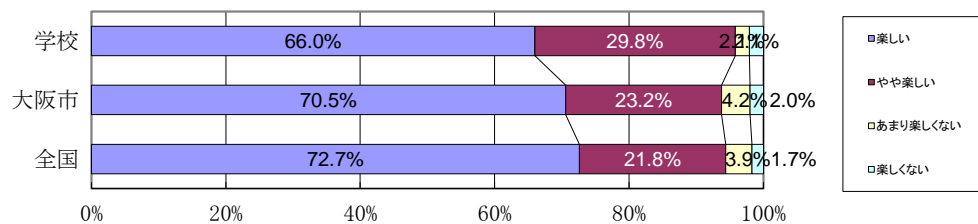
定期的な健康や運動・体力についての啓発や家庭・保護者連携を伴う取組みを進める。とともに普段の授業や成果の中で児童・家庭・地域・学校が参加や応援しやすい機会や環境を整備する。

体育の授業について（男子）

質問 番号 質問事項

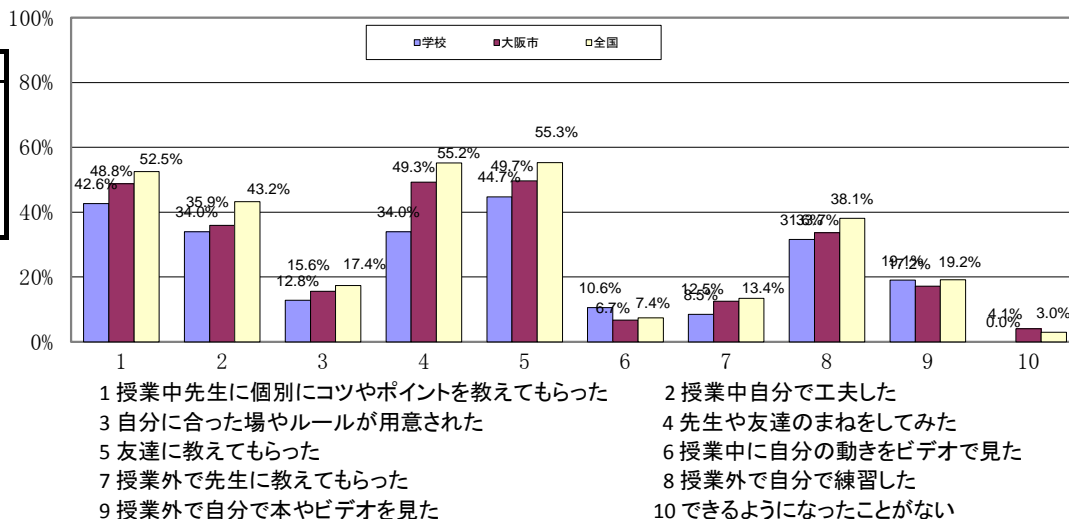
20

体育の授業は
楽しいですか



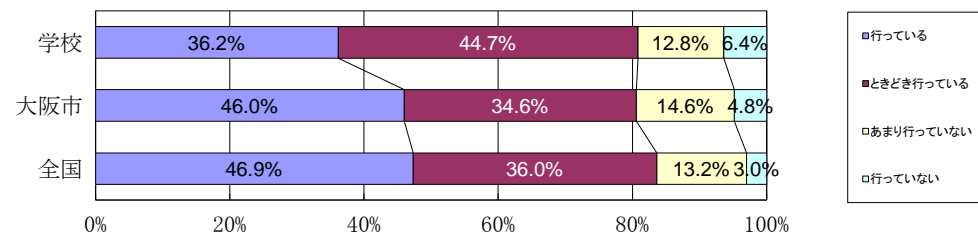
26

これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



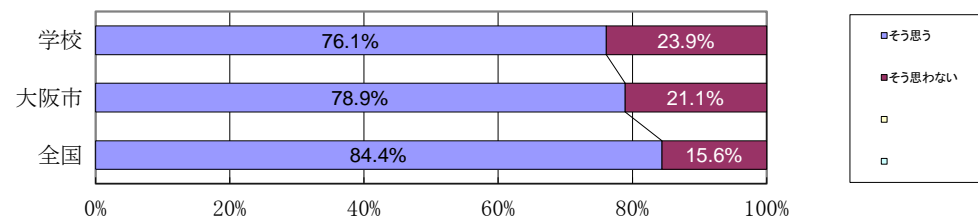
24

ふだんの体育の授業では、
友達同士やチームの中で
話し合う活動を行っていま
すか。



25-1

体育の授業であなたはどの
ように感じていますか。体育
の授業では、技や動きがで
きるようになる



成果と課題

体育の授業を楽しんでいる児童は多い。学校で先生に教えてもらい、工夫したりまねをしてみたり、あるいは友達に支援してもらったり話し合ったりすることで、できるようになる感覚もある。児童それぞれが、体力向上やその意識の向上のために主体的に学べるよう工夫することが大切である。

今後の取組

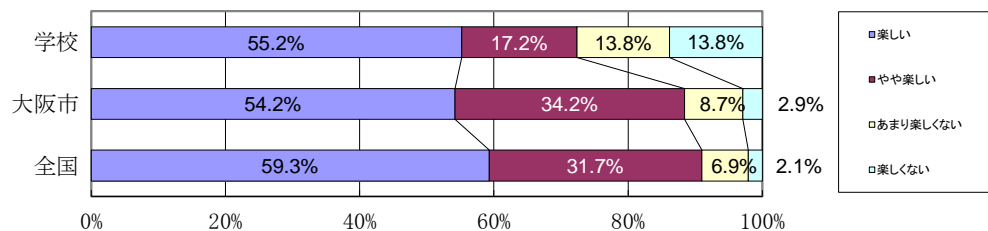
それぞれの活動を主体的に取り組める体育授業を進める。また、一人一人が自分の体力や目指す体力の実現（目標）に向けて、協力したり達成感を会得できる授業を工夫する。

体育の授業について（女子）

質問 番号 質問事項

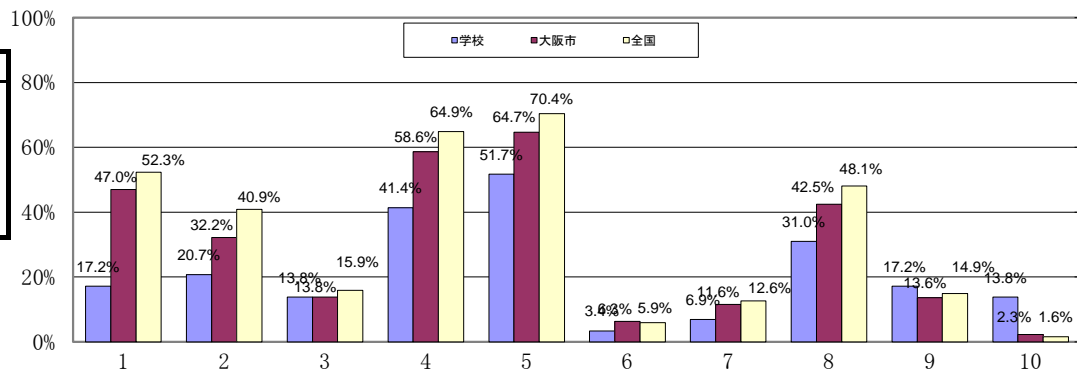
20

体育の授業は
楽しいですか



26

これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか

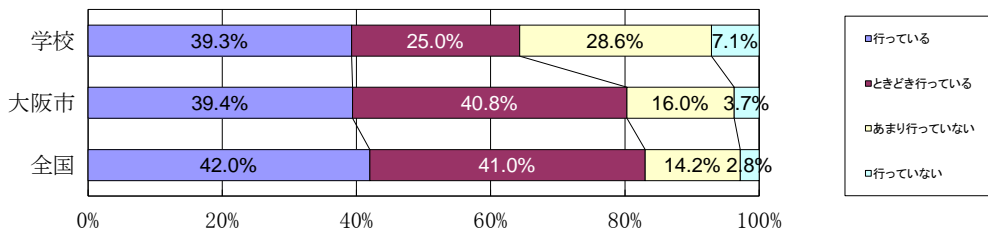


- 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 自分に合った場やルールが用意された
- 友達に教えてもらった
- 先生や友達のまねをしてみた
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で先生に教えてもらった
- 授業外で自分で本やビデオを見た

- 授業中自分で工夫した
- 先生や友達のまねをしてみた
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で自分で練習した
- できるようにになったことがない

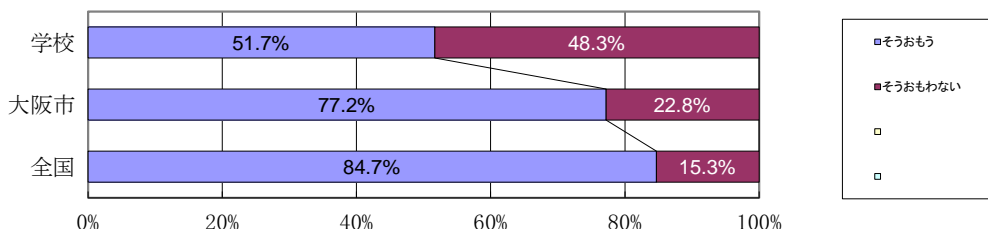
24

ふだんの体育の授業では、
友達同士やチームの中で
話し合う活動を行っていま
すか。



25-1

体育の授業であなたはどの
ように感じていますか。体育
の授業では、技や動きがで
きるようになる



成果と課題

それぞれの項目についての肯定感が、全国平均に比べて大きく劣っている。概して、運動や体力について積極的に意識し取り組む姿勢が欠けている。

今後の取組

運動・体力についての意義付けはもちろん、興味・関心を高める指導方や評価方の工夫が早急に必要であり、話し合う活動や協力して楽しく取り組む活動の開発を急務とする。

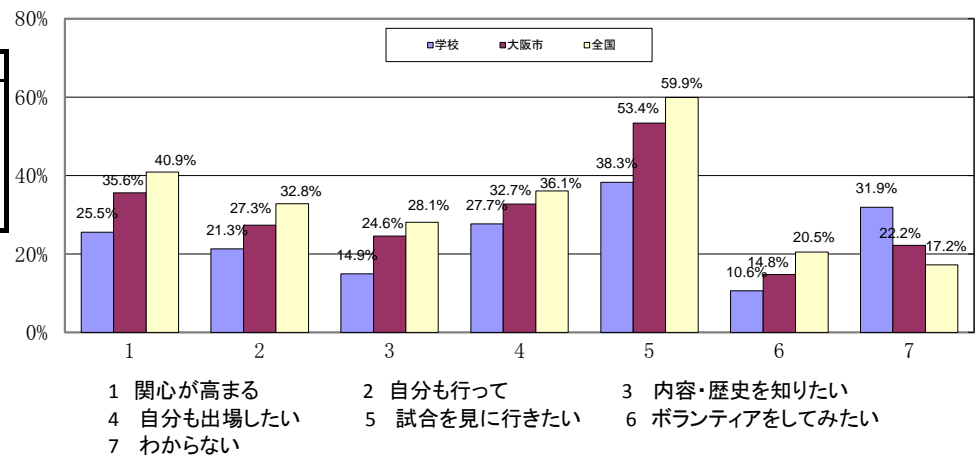
小学校入学前や現在のことについて（男子）

質問
番号

質問事項

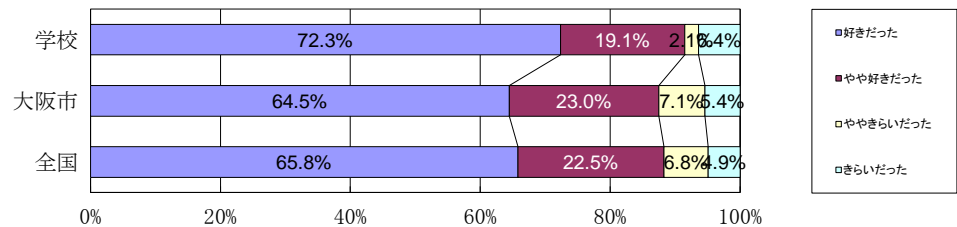
29

オリンピック・パラリンピック
への気持ち



30

小学校入学前は体を動かす
遊びが好きでしたか。



成果と課題

小学校入学前の運動に対する意識は高く好きな子も多く、入学後も水準を維持している。しかし、パラリンピックなど様々な運動活動に対する知識やかかわりは薄く、生涯体育や体力づくり、相互活動としての継続的な運動意識を高める必要がある。

今後の取組

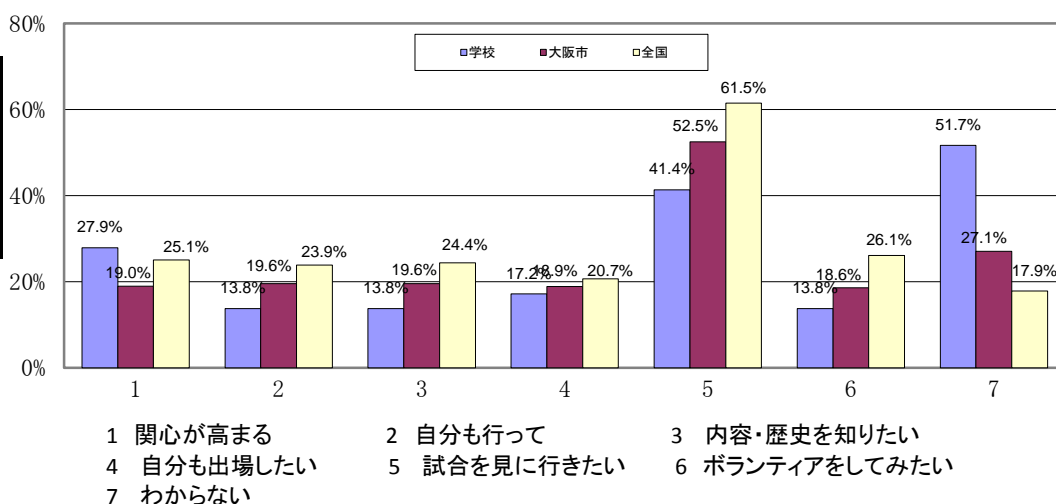
様々な運動に対する見聞や触れ合う機会を増やす。とともにゲームなどを通じて自ら体を動かす楽しさを会得させる授業を工夫して行う。

小学校入学前や現在のことについて（女子）

質問 番号 質問事項

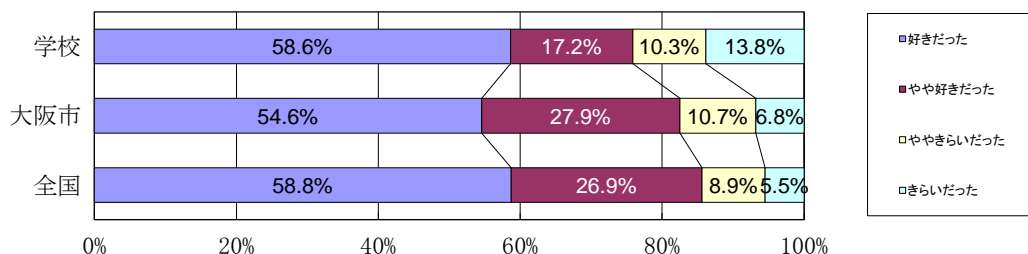
29

オリンピック・パラリンピック
への気持ち



30

小学校入学前は体を動かす
遊びが好きでしたか。



成果と課題

入学前の運動に対する意識やパラリンピックに対する興味・関心・意識も、全国に比してそう低くはない。入学後に低く変化する状況を分析し改善する。

今後の取組

地域体育で運動に参加している児童と、学校体育だけで接する児童の意識差が大きいと推測する。体育授業等でのリーダーを育成するとともに、苦手な児童に対する支援や補助を主体的に児童間で行うことができるように授業を組み立て、達成感やリーダー性についての評価法を工夫することにより、体育・運動に対する興味・関心や意識を高める授業を行う。